

11月の相談

日 開催日 時 時間 所 場所
 予 予約受付 問 問い合わせ先

法律相談 (要予約) 6日(木)

時 13:30~16:30 所 市役所1階 市民相談室
 予 1カ月前から 問 市民生活課 ☎22-1116
 ※内容により、お受けできない場合があります。

行政相談 11日(火)、25日(火)

時 9:30~11:30 所 市役所1階 市民相談室
 問 市民生活課 ☎22-1116

司法書士による法律相談 28日(金)

時 14:00~16:00 所 ひまわり会館1階
 問 市民生活課 ☎22-1116

消費生活相談 平日開館

時 9:30~16:30 所 消費生活センター
 問 消費生活センター ☎24-3251

特設人権相談 12日(水)

時 13:30~16:00 所 桑野公民館、ひまわり会館3階
 問 人権・男女参画課 ☎22-3094

人権相談 21日(金)

時 13:30~16:00 所 ひまわり会館1階
 問 人権・男女参画課 ☎22-3094

女性の生き方なんでも相談 (要予約)

日 4・11・18・25日 時 13:00~17:00
 日 14・28日 時 13:00~16:00
 所 市民会館2階 相談室 予 随時
 問 男女共同参画室分室 ☎22-0361

年金相談 (要予約) 6日(木)

時 9:00~15:30 所 市商工業振興センター
 予 1カ月前から電話による完全予約制
 問 徳島南年金事務所 ☎088-652-1511
 ※12月の相談日はありません。

子育て家庭教育電話相談 (来所相談も可)

日 月曜日~金曜日(祝日除く) 時 9:00~12:00
 問 家庭教育支援チーム「育みクラブ」 ☎42-3885

心配ごと相談 10日(月)、17日(月)

時 10:00~15:00 所 市民会館内社会福祉協議会
 問 社会福祉協議会 ☎23-7288

11月の休日・夜間診療

軽症でも急いで治療の必要がある場合、次の医療機関で受診できます。

●休日昼間 9:00~17:00

日	医療機関名	所在地	問い合わせ先
2日	宮本病院	羽ノ浦町	☎44-4343
3日	阿南医師会中央病院内	宝田町	☎22-1313
9日	阿南医師会中央病院内	宝田町	☎22-1313
16日	井坂クリニック	津乃峰町	☎27-0047
23日	岩城クリニック	学原町	☎23-5600
24日	井原医院	見能林町	☎21-0021
30日	阿南医師会中央病院内	宝田町	☎22-1313

※市内の休日医療機関は、変更される場合がありますので、阿南市医師会(☎22-1313)までお問い合わせください。

●夜間(毎日)の当番 17:00~22:00

市内の医療機関または阿南医師会中央病院内
 ※阿南市医師会(☎22-1313)までお問い合わせください。

●小児救急医療体制

24時間365日徳島赤十字病院が小児救急患者を受け入れています。(事前の電話連絡は不要です。)

11月の市税

- 固定資産税(第4期)
 - 国民健康保険税(第6期)
- 納期限は、12月1日(月)です。納め忘れのないようにしましょう。

日曜相談窓口 30日(日) 8:30~17:00 (市役所1階納税課)

市税の納付および分納等の納税(納付)相談を受け付けています。

問い合わせは 納税課(☎22-1792)へ

11月の平日延長窓口

- 5日(水)、19日(水) 17:15~18:15 市役所本庁1階
- 住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍謄抄本、身分証明書の交付
(※時間延長時は、住民異動・印鑑登録・住基カードの発行等は行っていません。)
 市民生活課(☎22-1116)へ
 - 納税相談 納税課(☎22-1792)へ

スポーツ施設11月の休館日

サンアリーナ(温水プール)	4・10・17・25日
那賀川スポーツセンター	5・12・19・26日
羽ノ浦総合国民体育館	4・10・17・25日
羽ノ浦健康スポーツランド	4・10・17・25日
県南部総合運動公園	4・11・18・25日

人口と世帯数

人口 76,302人(+9)
 (男) 36,786人(+7)
 (女) 39,516人(+2)
 世帯数 30,166世帯(+26)

※平成26年9月末日現在
 カッコ内は前月対比

公共下水道受益者負担金

納期限

分割納付の第2期
 12月1日(月)

問い合わせは
 下水道課(☎22-1796)へ



表紙の写真は、椿泊町の佐田神社例大祭の一コマです。10年ぶりに改装された「みこし」が秋の陽光に照り映え、かつく手に一層力が入っていました。さて、「食欲の秋」「読書の秋」「スポーツの秋」「芸術の秋」…と、秋にはたくさんの言葉がつかますが、皆さんはどんな秋をお過ごしでしょうか？ちなみに、「読書の秋」の由来は、古代中国の文人・韓愈(768~824)が残した、『全唐詩』341巻の中で詠んだ詩の一節にあるといわれています。(山田) 日が落ちるのがだんだん早くなり、朝夜は肌寒さを感じる季節になりました。そんななか、温かい飲み物を片手に本や雑誌を読み進める時間は、私にとって至福のひとつです。今秋は、普段読まないジャンルの本に挑戦してみようと思います。(相田)